

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2006-106142(P2006-106142A)

【公開日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-016

【出願番号】特願2004-289378(P2004-289378)

【国際特許分類】

G 09 G 3/22 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/22 E

G 09 G 3/20 6 1 2 R

G 09 G 3/20 6 2 3 A

G 09 G 3/20 6 3 1 V

G 09 G 3/20 6 4 1 A

G 09 G 3/20 6 4 1 C

G 09 G 3/20 6 4 1 K

G 09 G 3/20 6 4 2 A

G 09 G 3/20 6 4 2 J

G 09 G 3/20 6 5 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月6日(2007.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに対向して配置される第1、第2の基板と、前記第1、第2の基板間に配置される複数のスペーサと、前記第1、第2の基板間に配列され、かつ互いに異なる第1、第2、および第3の表示色の画素と、を有する表示部と、

前記第1、第2、第3の表示色それぞれに対応する第1、第2、第3の階調の情報を含む映像信号を入力し、前記表示部上でのスペーサの配置に対応して前記第1、第2、第3の階調それぞれを補正する階調補正部と、

前記階調補正部で補正される階調に基づき、前記表示部を表示させる駆動信号を生成する駆動信号生成部と、

を具備することを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記画素が、電子放出素子と、前記電子放出素子から放出される電子によって前記第1、第2、および第3の表示色いずれかの光を発する蛍光体と、を含むことを特徴とする請求項1記載の表示装置。

【請求項3】

前記第1、第2、第3の表示色の画素がそれぞれ、前記スペーサと交差するように配列されている

ことを特徴とする請求項1または2に記載の表示装置。

【請求項4】

前記階調補正部が、前記スペーサの近傍の画素に係る階調を補正することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の表示装置。

【請求項5】

前記階調補正部が、前記スペーサの第1の近傍の画素に係る階調が大きくなり、前記第1の近傍よりも前記スペーサから離れた第2の近傍の画素に係る階調が小さくなるように補正する

ことを特徴とする請求項4記載の表示装置。

【請求項6】

前記駆動信号生成部が、前記階調に対応して、前記駆動信号の振幅とパルス幅とを変化させる

ことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の表示装置。

【請求項7】

互いに対向して配置される第1、第2の基板と、前記第1、第2の基板間に配置される複数のスペーサと、前記第1、第2の基板間に配列され、かつ互いに異なる第1、第2、および第3の表示色の画素と、を有する表示部における前記第1、第2、第3の表示色それぞれに対応する第1、第2、第3の階調の情報を含む映像信号を入力するステップと、前記表示部上でのスペーサの配置に対応して、前記入力される映像信号に含まれる第1、第2、第3の階調それぞれを補正するステップと、

前記補正される階調に基づき、前記表示部を表示させる駆動信号を生成するステップと

、
を具備することを特徴とする表示方法。